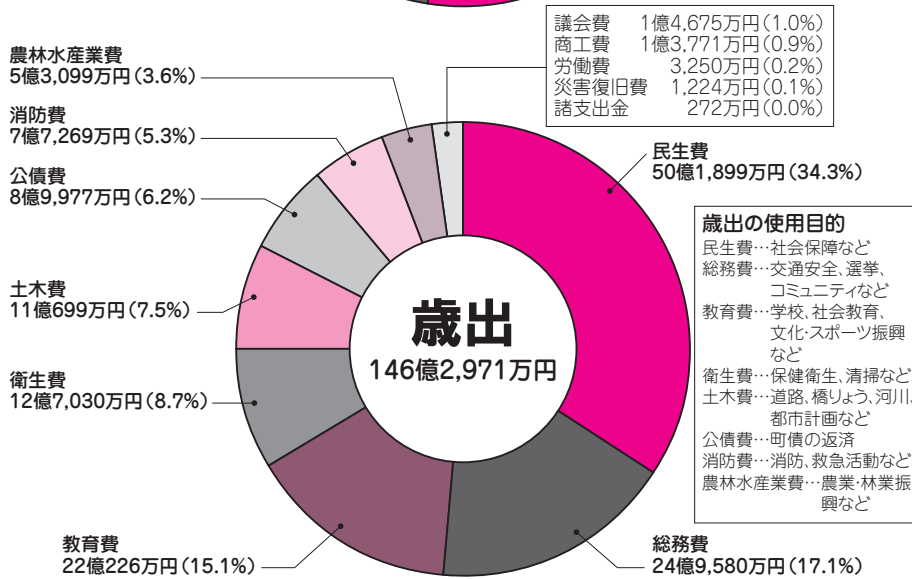
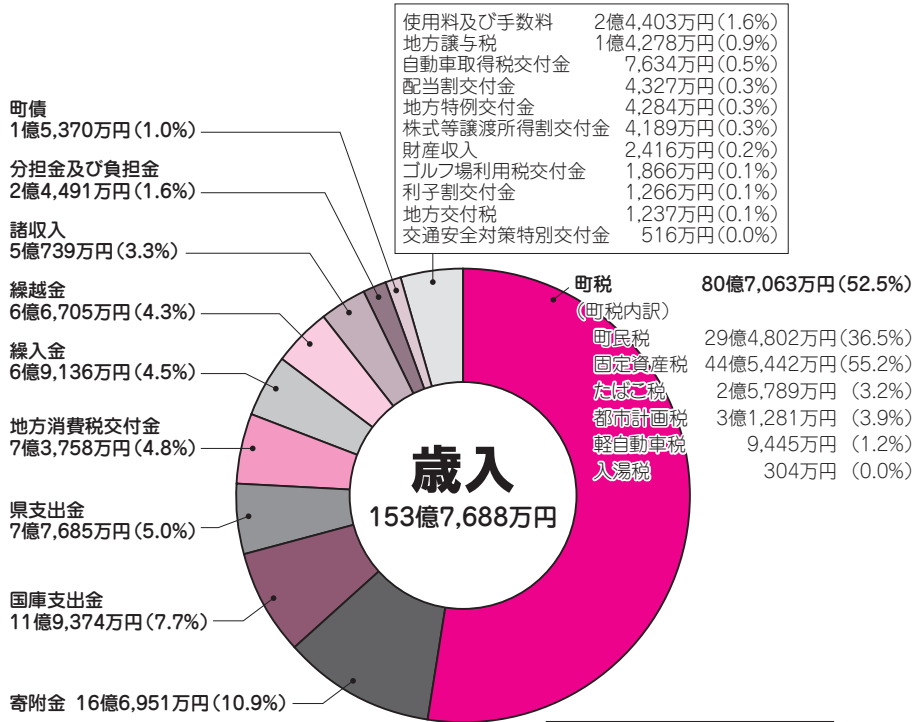


平成29年度決算報告と町の財政状況

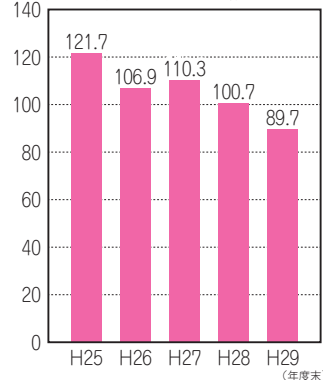
わが町のお金の使いみち

一般会計



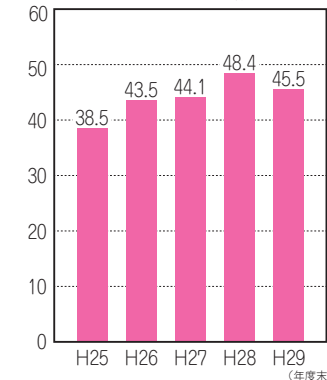
今年もわが町の台所事情をお知らせする時期が来ました。皆さんが納めた貴重な税金や、国・県からの補助金などのお金が、幸田町のまちづくりにごのうに使われたのかを公表します。

町債残高の推移



町民一人当たり21万7,212円

基金残高の推移



町民一人当たり11万180円

* 一般会計と特別会計の合計額で算出しています。

「財政調整基金」(約26・5億円)などこの基金に積立られています。

場合や災害などの予定外の支出に備える「財政調整基金」(約26・5億円)などこの基金に積立られています。

平成29年度末の町債(借金)の残高は、89億7,421万円です。道路や学校など長期間使用する施設の建設には、多額の経費が必要です。町債で賄うことは、後世代への公平負担の意味もあります。

基金(貯金)の残高は、45億5,273万円です。大幅に税収が減少した場合や災害などの予定外の支出に備える

借金・貯金の状況

決算状況

会計名			歳入(a)	伸び率	歳出(b)	伸び率	差額(a)-(b)
一般会計			153億7,688万円	0.0%増	146億2,971万円	0.5%減	7億4,717万円
特別会計	土地取得特別会計		3,790万円	5,573.5%増	1,711万円	2,416.2%増	2,079万円
	国民健康保険特別会計		37億5,647万円	0.4%増	36億1,469万円	1.0%減	1億4,178万円
	後期高齢者医療特別会計		4億 308万円	12.0%増	4億 251万円	11.9%増	57万円
	介護保険特別会計		18億5,727万円	7.1%増	18億1,944万円	10.8%増	3,783万円
	幸田駅前土地区画整理事業特別会計		3億1,714万円	27.7%減	3億1,414万円	27.9%減	300万円
	農業集落排水事業特別会計		3億4,335万円	4.9%減	3億3,374万円	5.2%減	961万円
	下水道事業特別会計		6億7,162万円	7.9%減	6億6,116万円	7.9%減	1,046万円
企業会計 (税抜き)	水道事業 会計	収益的収支	7億8,169万円	0.8%増	6億2,733万円	0.2%増	1億5,436万円
		資本的収支	1億 276万円	23.4%減	2億7,247万円	31.5%減	▲1億6,971万円
総合計			236億4,816万円	0.1%減	226億9,230万円	0.9%減	9億5,586万円

*歳入には翌年度繰越明許費(事業財源分)一般会計985万円、幸田駅前土地区画整理事業特別会計300万円を含む

都市計画税の使いみち

都市計画税は、都市計画事業などのための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	都市計画税からの 充当額
都市計画総務事業	5,685万円	2,853万円
土地区画整理事業	2,160万円	1,090万円
街路事業	30万円	15万円
公園事業	5,480万円	2,498万円
幸田駅前土地区画 整理事業	3億1,414万円	7,104万円
公共下水道事業	6億6,116万円	1億7,720万円
合計	11億885万円	3億1,280万円

入湯税の使いみち

入湯税は、入湯客に課されるもので、観光の振興および観光施設の整備などに要する費用のための目的税で、下表の事業に充てられています。

事業名称	事業費	入湯税からの 充当額
観光事業	558万円	304万円



えこたんの解説



一般会計の歳入は、平成28年度と比べると法人町民税の落ち込みにより税収が約4億円減少したけど、620万円増とほぼ横ばいだったよ。これは、ふるさと納税で全国の皆さんから多くの寄附金をいただいたからなんだよ。歳出も7,392万円増とほぼ横ばいだったよ。実施した主な事業は、9ページで紹介しているから見てみてね。民生費は、引き続き各種福祉サービスや中学校までの子ども医療の無料化を行っているので増加となったよ。「人と自然と産業の調和」がとれたまちづくりに今後もしっかり取り組んでいくね。公債費だけ、平成28年度と比べると、借金の残高は減っているけど、借金の比率は愛知県内では高い方なんだ。

一般会計のほかに、7つの特別会計と1つの企業会計が設けられているんだ。特別会計は、特定の事業のために財布を分けて管理しているというイメージだね。企業会計は、水道事業会計のことよ。幸田町の水道事業はここで運営しているよ。限られた財源を生かしながら、幸田町でさまざまな事業が進められているんだよ。

幸田町の家計簿

町の財政状況を分かりやすくするため、平成29年度の町の一般会計決算額を町の人口41,296人（平成30年3月31日現在の住民基本台帳人口）で割り、町民1人当たりの金額に換算して、家計で使う項目に例えてみました。

収入		支出	
給料（町税等）	29万3,468円	食費（人件費）	7万5,330円
両親からの援助（国・県支出金など）	7万5,168円	医療費（扶助費）	4万9,929円
ローンで賅っている額（町債）	3,722円	ローン返済（公債費）	2万1,789円
合計	37万2,358円	光熱水費（物件費）	7万3,637円
		自宅の修繕（維持補修費）	6,417円
		お祝い金、町内会費（補助費等）	4万6,019円
		貯金（積立金）	4,934円
		証券投資（貸付金）	2,179円
		仕送り（繰出金）	3万1,347円
		自宅の増改築（普通建設・災害復旧費）	4万2,684円
		来期に支払うお金（繰越明許）	238円
		繰越金（実質収支）	1万7,855円
		合計	37万2,358円

家計と町の財政ではお金の使い方も規模も違うから単純には比べられないところもあるけど、おおよそこのようになるよ。



平成29年度決算に基づく健全化判断比率・資金不足比率

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」により、平成29年度決算に基づく健全化判断比率および公営企業の資金不足比率を公表します。

財政健全化判断比率

地方公共団体は、統一的な指標で財政状況を把握するため、4つの財政指標である健全化判断比率を算定し公表することが義務付けられています。

いずれの指標も早期健全化基準を超えた場合は、財政状況はイエローカードである「早期健全化団体」となり、財政状況を改善するための計画を策定する必要があります。

項目	健全化判断比率	早期健全化基準
実質赤字比率	-	13.45%
連結実質赤字比率	-	18.45%
実質公債費比率	5.3%	25.00%
将来負担比率	-	350.00%

*「-」で表示されている項目は、黒字のため数値が計上されていません。

公営企業の資金不足比率

公営企業会計における料金収入に対する資金不足額（赤字額）に対する比率であり、経営健全化基準を超えた場合は、経営健全化計画を策定する必要があります。

項目	資金不足比率	経営健全化基準
農業集落排水事業特別会計	-	20.00%
下水道事業特別会計	-	20.00%
水道事業会計	-	20.00%

*「-」で表示されている項目は、資金不足額がないため数値が計上されていません。

えこたんの解説



「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」は、平成18年に北海道夕張市が財政破たんしたことが発端でできた法律のことで、議会や住民に対して財政状況を公表することが義務付けられたんだ。幸田町は、「財政健全化判断比率」、「資金不足比率」とともに基準をクリアしているよ。今後も健全財政を心掛けていくね。

決算審査報告

幸田町監査委員

山下 弘
大嶽 力

決算審査に付された各会計の歳入歳出決算書などは、いずれも関係法令などに準拠して作成されており、その計数は正確で、予算の執行はおおむね適正であると認められた。

◎一般会計・特別会計

一般会計と各特別会計の決算総額は、前年度と比較し、歳入・歳出それぞれ減少となった。歳入決算額から歳出決算額を差し引いた形式収支、実質収支および単年度収支は、黒字であった。町税の収納率は、若干上昇しているものの、滞納者に対しては、個別のケースに応じたきめ細やかな対応を継続する一方で、厳正な措置も必要である。また、主要な財政指標では、公債費負担比率は年々着実に減少しているが、経常収支比率は改善を必要とされる。今後、計画的な起債に留意するとともに、経費の節減と事業の効率化に努められたい。

◎水道事業会計

水道事業会計は、前年度と比較し、年間総配水量および年間総有収水量ともに増加している。総収益および最終純利益は、それぞれ増加している。引き続き安定かつ良質な水の供給に向け、施設の耐震対策・ライフライン機能強化・サービスの向上を含めた総合的な事業の取組みが必要と考える。

◎総評

平成29年度決算では、法人町民税が大幅に減少したが、ふるさと寄附金により歳入全体では、前年度とほぼ同額を確保できた。財政指標の健全化比率等は、健全な数値と判断することができた。しかし、歳入では法人町民税の一部国税化、歳出では社会保障関係経費の増加など、行財政運営は、厳しい状況が続くものと考えられる。予算の執行にあたっては、絶えず成果の検証を行い、コスト意識を持ち、より良い行政サービスをより効果的に町民に提供できるように、職員一丸となって職務に精励されることを望むものである。

(平成29年度決算審査意見から)

平成29年度に実施した主な事業

多世代の皆さんが笑顔あふれる元気なまちを目指し、さまざまな事業を実施しました。その一部をご紹介します。



多世代交流施設(豊坂ほっと館)整備事業



坂崎小学校校舎増築工事



高校生カンボジア派遣事業



災害対応特殊救急自動車購入



町民会館舞台照明・音響改修工事



役場窓口手話通訳者配置

問合せ 財政課財政グループ ☎(0564)62-1111(内線353) FAX(0564)63-5139